

だい ぶ かだい  
第5部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持参ください。

だい かい  
第15回  
まいにち にゅうりよく  
毎日パソコン入力コンクール  
とう き たいかい  
冬季大会  
か だい  
【課題】  
だい ぶ わぶん しょうがくせいとい ちゅうがくねん  
第5部 和文A 小学生低・中学年  
ことわざ・慣用句①  
せいげんじかん ぶん  
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう  
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

さんこうぶんけん しょうがくかん かんようく じてん もじすう じていど  
※参考文献：小学館 慣用句びっくりことば事典（文字数1,400字程度）

かだいぶんしょう きんそくもじ  
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりよく  
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい  
るため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど  
おりに入力すると正解になります。

しゅさい  
主催

まいにちしんぶんしゃ  
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりよくけんていいいんかい  
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援

そうむしょう  
総務省

もんぶかがくしょう  
文部科学省

こうせいろうどうしょう  
厚生労働省

けいざいさんぎょうしょう  
経済産業省ほか

ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく  
1行28字詰で、つぎの文章を入力してください。

※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。

れきしはくり返す 

そなえあればうれいなし 

わらう門かどには福ふく来きたる 

馬うまの耳みみにねんぶつ 

頭あたまかくしてしりかくさず 

きつねとたぬき 

へそで茶ちやをわかす 

おににかなぼう 

ねこに小こばん 

るいは友ともをよぶ 

こいのたきのぼり 

さるも木きからおちる 

てんさいはわすれたころにやってくる 

まな板いたのこい 

のこりものには福ふくがある 

立つ鳥とりあとをにごさず 

にがした魚さかなは大きいおおい 

目めは口くちほどにものを言ういう 

親したしきなかにもれいぎあり 

えびでたいをつる 

ふくろのねずみ 

花はなよりだんご 

身みから出でたさび 

ぬかにくぎ 

ゆだんたいてき 

かえるの子こはかえる 

つるのひとこえ一声 

病やまいは気きから 

ちりもつもれば山やまとなる 

人ひとのふり見みてわがふり直なおせ 

すずめのなみだ 

くさいものにふたをする 

おかし  
昔とったきねづか

せいてはことをしそんじる

とんびにあぶらあげをさらわれる

ももくり三年かき八年

ほねおりぞんのくたびれもうけ

来年のことを言えばおにがわらう

六十の手習い

なきつつらにはち

よいっばりの朝ねぼう

りょうやくは口にながし

石の上にも三年

けんえんのなか

くち

口がおもい

ことば数が少なくて、あまり話をしない。

かれは口がおもいけれど、言うべきことはきちんと言える。

ひやくしやうち

百も承知

十分すぎるほどわかっている。

どんな登山家でも冬山が危険なことは、百も承知だ。

もん

門をたたく

でし入りをねがって、おとずれる。

兄は、しとあおぐ作曲家の門をたたいた。

め

目をくばる

よく気をつけて、あちらこちらを見る。

おうだんするとき、前の方だけでなく四方に目をくばって  
わたる。

う

うでによりをかける

持っているのうりよくを十分に  
出そうとはりきる。

母のたんじょう日には、父と姉がうでによりをかけて料理を

つく  
作った。◀

いま  
今の今まで◀

「今まで」を強めた言い方。今のこのときまで。◀  
歌に聞きほれて、後ろのせきにあなたがいたとは今の今まで  
気づかなかったよ。◀

あたま き  
頭が切れる◀

あたま はや  
頭のめぐりが早く、てきぱきとものごとをしよりするのうり  
よくがある。◀

あたま き  
かれは頭が切れるので、ぎちょうとしててきにんだ。◀

かお ひ で  
顔から火が出る◀

たいへんはずかしい思いで顔が赤くなる。◀

じゅぎょう中、おなかがグーと鳴ったので、顔から火が出る  
ようだった。◀

みず  
水にながす◀

今までにあったあらそいやもめごとなどをとやかに言わず、  
なにもなかったことにする。◀

あに いま みず  
兄は今までのことは水にながして、なかなおりしようと言っ  
てきた。◀

われ わす  
我を忘れる◀

ものごとに氣をとられて、夢中になってしまう。◀

うんどうかい こうはく たいせっせん われ わす  
運動会の紅白リレーは、大接戦になり、ぼくたちは我を忘れ  
て応援した。◀

かぶとをぬぐ◀

とてもかなわないと、こうさんする。◀

きみのもの知りには、クラスのみんながかぶとをぬぐ。◀

くち  
口をそろえる◀

おお ひと おな  
大ぜいの人と同じことを言う。☞

チームのゆうしょうには、みんながくちをそろえて「ばんざい」とさげんだ。☞

☞  
こころ  
心にのこる☞

つよ  
強いいんしょうを受けて、あたま  
頭からはなれない。わすれられない。☞

そつぎょうしたあとも、せんせい あか  
先生の明るいわらいがおがこころ  
心にのこっている。☞

☞  
て  
おねに手をおく☞

よくかんが  
考えること。☞

おねに手をおいて、これまでのせいかつ  
生活をはんせいする。☞

☞  
あし  
足をのばす☞

のびのびとゆっくりやす  
休むこと。き  
決めていたところより、もっ  
ととお  
遠くまでいくこと。☞

いつもよりあし  
足をのばして、となりのまち  
町のデパートでか  
もの  
買い物をした。☞

☞  
ただ  
えりを直す☞

まじめなき  
もち  
気持ちになってみ  
まじまいをただし、きちんとする。☞

ぼくは、いれいひに、えりをただ  
おまいりをした。☞

☞  
き  
気がちる☞

き  
もち  
気持ちが一つのことにしゅうちゅうできない。☞

となりのおと  
ラジカセの音にき  
気がちってべんきょうができない。☞

☞  
くち  
口を出す☞

じぶん  
自分とはかんけい  
関係のないものごとや話などにわりこむ。☞

きょうだい  
兄弟げんかにくち  
口を出しても、どうにもならない。